

施工者
専用

取扱説明書

HIC-002I/003G

Takasho

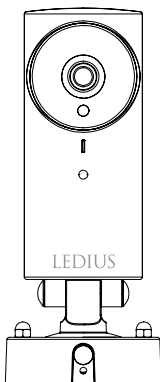
T-0107170-DI



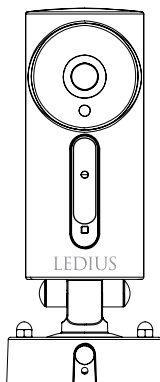
GEMS®

ローボルト12V

LEDIUS Cam Basic
HIC-002I



LEDIUS Cam Plus+
HIC-003G



**この度は、当社の商品をご購入いただき
誠にありがとうございます。**

この説明書は、本商品の施工方法、使用方法、注意事項等について記載しています。
素敵なガーデニングライフをより一層豊かに、安全にお楽しみいただくために、本商品
のご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解されてから、正しく
ご使用ください。また、お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管して
ください。

はじめに

本システムについて

- 本システムは侵入や盗難などを防止することを目的にした製品ではありません。これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本システムは無線通信を利用した商品であるため、混信や干渉により意図どおりに機能を使用できないことがあります。これによる事件・事故および損害の発生などについて、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

ここに書かれた内容は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐための重要な内容です。安全にお使いいただくために、必ずお守りください。取扱説明書の内容から逸脱した行為による不具合や事故の発生については、責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



警告

誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

誤った取り扱いをすると、軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容です。



警告

- この器具は屋外用カメラですが、冠水の恐れのある場所、くぼ地など水のたまる場所、腐食性ガスの発生する場所、振動や衝撃の多い場所では使用しないでください。このような場所で使用すると火災、感電、不点灯などの故障の原因となります。
- 布や紙など、燃えやすいものをかぶせないでください。
- 金属やゴミを差し込まないでください。(器具のすき間へ、針金やヘアピン、可燃物などを差し込まないでください)
- 電源コードが傷んだ状態では使用しないでください。
- 使用商品の総W数が専用DCトランスの容量70%を超えた状態で使用しないでください。加熱または発火原因となります。
- 異常時は使用を停止してください。(煙が出たり、異臭がしたら、すぐにスイッチを切ってください)
- お客様自身で分解、改造は絶対にしないでください。



注意

- この商品は電気製品であり永久には使用できません。
- この商品を施工する場合は、メンテナンスを考慮した施工を行ってください。
- 専用DCトランス以外の電源は使用しないでください。
- 使用環境が-30℃以下および50℃以上になる場所では使用しないでください。
- 強い振動、衝撃のある場所で使用しないでください。
- 引火する危険のある場所で使用しないでください。
- コードを無理に引っ張らないでください。
- 給湯器、空調機器の排気が直接商品に当たらないように施工してください。
- 殺虫剤や苛性ソーダ、塩酸などの薬品を商品にかけないでください。
- 目的以外の使用は絶対にしないでください。
- 無理な荷重をかけないでください。
- 海岸地帯など塩害が起こりやすい場所では、発錆や腐食による不具合が発生する可能性がありますので使用しないでください。
- 器具を水洗いしないでください。
- 国外で使用しないでください。
- 高圧洗浄器を使用し洗浄しないでください。
- コードを水などの液体につけないでください。
- 各部品の尖った部分で手などを傷つけないようにしてください。
- 長期間使用しない場合は電源スイッチを切ってください。
- 商品が破損した場合はすぐに施工店に連絡してください。
- 破損したままで使用すると事故の原因になります。
- 水勾配を考慮し、水浸しないように施工してください。

手順と流れ

必ず以下の順序にて施工を行ってください

① 動作環境を満たしているか、ご確認ください。

➡ 動作環境 < P.4 >

➡ 施工前チェック < P.5 >

② 初期設定（動作確認）を実施ください。

➡ 「かんたん！初期設定ガイド」（別紙）

③ 施工を実施ください。

➡ 施工方法 < P.7 >

④ 施工後（引きわたし）

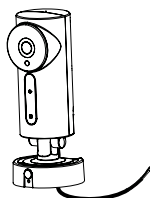
➡ 施主様へお伝えください < P.12 >

※ 下記、ご一読ください。

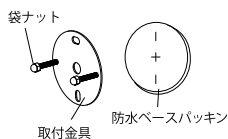
ご使用上のお願い / その他 / 商標について … P.12

梱包品一覧

〔本体〕



〔取付金具一式〕

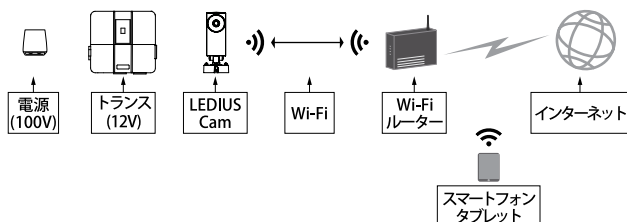


- コンクリートネジ × 2
- フィッシャープラグ × 2

〔その他〕

- 「かんたん！初期設定ガイド」
- ステッカー
- 施工者専用 取扱説明書（本書）

LEDIUS Cam を使うために必要なもの



■ トランスについて

トランスが必要です。100V 電源の近くに設置し、12V に変圧します。常時点灯ライン付のトランス、または、トランスの表示モニタを「F」（常時点灯モード）にしてご使用ください。

■ Wi-Fi ルーターについて

建築の構造や周囲の電波環境にもよりますが、Wi-Fi ルーターと LEDIUS Cam 間の推奨距離は 10m 以内です。可能であれば、より近い場所に設置ください。

■ インターネットについて

インターネット回線 1 日のデータ通信量は 5GB 程度です。3G や LTE などのモバイル回線でもご利用いただけますが、通信制限の上限に達してしまうことがあります。

安定して LEDIUS Cam をご利用いただくために固定回線のご使用をおすすめします。

■ スマートフォン・タブレットについて

デバイス
iPhone / iPad / iPod touch /
Android phone / Android tablet

■ Wi-Fi について

- LEDIUS Cam は、0.5 ～ 1Mbps のアップロード帯域幅を使用します。安定した映像を得るためには、LEDIUS Cam 1 台あたり 1Mbps 程度のアップロード帯域を確保してください。
- 周波数 2.4Ghz の 801.11 b/g/n 対応 Wi-Fi を使用してください。また、利用チャンネルの帯域幅は、20MHz に設定してご利用ください。
- Wi-Fi 名称と接続パスワードは特殊文字を使用しないでください（例えば：スペース、ハイフン、アンダーバーや記号等）。英文字、数字のみ使用してください。
- WEP 方式の Wi-Fi を使用しないでください。
WEP 方式は旧式であり安全上リスクがありますので、WPA もしくは WPA2（両方とも）方式をご利用ください。
- 無線接続品質は下記のような状況で影響される可能性があります。
 - ・金属ドアが LEDIUS Cam と Wi-Fi ルーターの間にある
 - ・コンクリート、石、ブロックタイプの壁、もしくはアルミ質の断熱材が LEDIUS Cam と Wi-Fi ルーターの間にある
 - ・多重の壁が LEDIUS Cam と Wi-Fi ルーターの間にある
 - ・防火ドアもしくは防火ガラスが LEDIUS Cam と Wi-Fi ルーターの間にある
 - ・鉄製の柵が LEDIUS Cam と Wi-Fi ルーターの間にある
- ラジオ等の無線装置から離れた場所にしてください
無線装置と LEDIUS Cam の間は 2m 以上離して置いてください。LEDIUS Cam の電源は、無線装置の電源と同じコンセントを利用しないでください。

施工前チェック

① 施主様に関する確認

- ☐ 施主様はインターネットに接続された Wi-Fi 環境をご利用中であることを確認済み。
- ☐ 施主様はスマホまたはタブレットをご利用中であることを確認済み。

● 測定方法

- ① スマートフォンのアプリストアで、Wi-Fi速度測定の無料アプリをダウンロードします。
(例: ストア内にて「スピードテスト」で検索)
 - ② LEDIUS Camの設置予定場所にて、スピードテストのアプリを起動し測定します。
 - ③ LEDIUS Cam1台あたり常時0.5~1Mbps程度、上り(アップロード)回線の帯域を使用するため、計測結果が1Mbps以下の場合はカメラ設置前に環境の改善が必要です。
- ※ スマートフォンをLEDIUS Camに設定するWi-FiのSSIDに接続した状態でお試しください。
- ※ Wi-Fiの電波は大きく分けて2.4Ghzと5Ghzの2種類がありますが、カメラは2.4Ghzのみ使用可能です。速度測定を行う場合は2.4GhzのWi-Fi (IEEE802.11 b, g, n) に接続した状態で行ってください。
- ※ 測定結果と、実際にLEDIUS Cam設置後の通信速度に差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

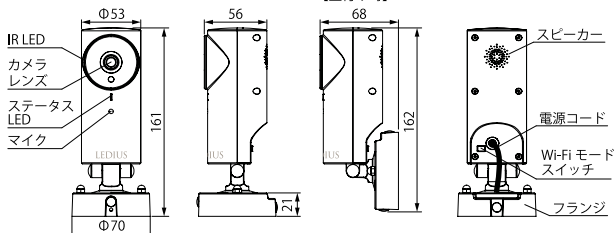
② Wi-Fi が届く事を現場で確認

- ☐ Wi-Fi を現場でチェック済み。
(Wi-Fiが届かない場合は、市販の中継器を使用する等、設置場所での電波を確保するようにしてください。)

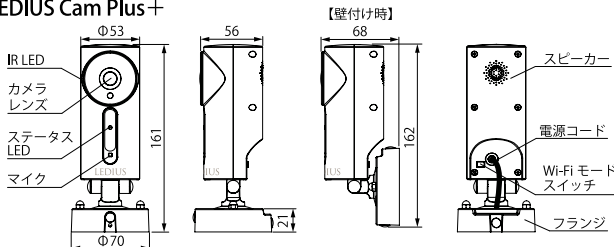
寸法及び名称

- 付属品: 取付金具一式
- コード長: 250mm
- 単位: mm

LEDIUS Cam Basic



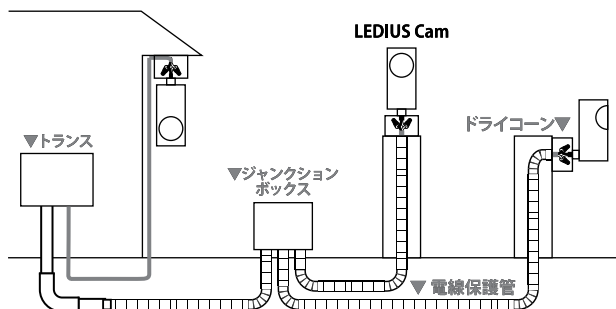
LEDIUS Cam Plus+



施工イメージ

●別売商品について詳しくは、お問い合わせください。

メンテナンスを考慮した施工を行ってください



▼…別売品となります。施工時に必要となりますので、ご購入ください

LEDIUS Camは常時動作が必要です。トランスは常時点灯回路付をお選びください。コンクリート、モルタルなどへ配線する場合は、電源コードを電線保護管(別売)に必ず通し、不乾性パテ(別売)で止水処理を行い、メンテナンスができるように施工してください。

別売品の紹介

■ 12V専用トランス(別売)



* イメージはHEA-013G/Iです。

- HEA-013G/I
LEDIUS ローボルトトランス 35W
常時点灯回路付
- HEA-009G/I, HEA-010G/I, HEA-011G/I,
HEA-012G/I
LEDIUS ローボルトトランス 15W/35W/
75W/150W 明るさ感度調整付

※常時点灯回路以外を使用する場合は、表示モニタに『F』が表示されている状態にて使用する必要があります。

■ 電源コード(別売)

※以下、電源コードと表記



HCE-0002/0003/0004, HEC-035K
12V用コード 5m/15m/100m, 50m

■ ドライコーン(別売)

※以下、ドライコーンと表記



HCE-0001/0014, HEC-0009
12V用ドライコーン
4個入/10個入/150個入

初期設定(動作確認)

LEDIUS Cam をトランスに繋いだ状態にて、ルーターの近くで初期設定を実施したのち、動作確認を行ってください。

詳しくは「かんたん！初期設定ガイド」をご参照ください。

スマートフォン・タブレットで映像が映ることを確認の上、実際の施工を行ってください。

施工方法

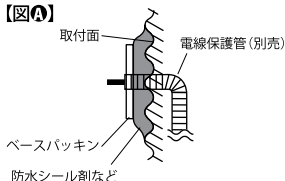
初期設定(動作確認)後、施工を行ってください

【壁付け時または直置時(電線保護管を使用する場合)】

1 電線保護管(別売)を配管します

ジャンクションボックスと商品の間にコードを通すための電線保護管(別売)を配管します。

【図A】



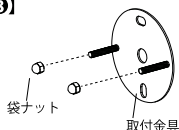
2 取り付け前の準備

取付面に凹凸がある場合は、防水性能を保つため防水ベースパッキンと取付面のすき間を防水シール剤などで埋めてください。【図A】

3 袋ナットを取り外します

取付金具の袋ナットを取り外します。【図B】

【図B】

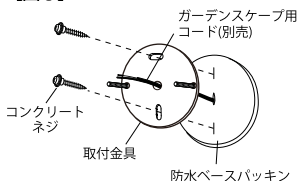


4 取付金具を壁面に取り付けます

1, ガーデンスケープ用コード(別売)を防水ベースパッキン中心の切り込み穴に通した後、取付金具の穴に通します。【図C】

2, 取付金具をコンクリートネジ2本で、補強材のあるところに取り付けてください。

【図C】



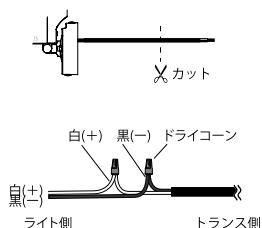
5 コードを接続します

本体のコードとガーデンスケープ用コード(別売)をドライコーン(別売)を使って接続します。【図⑩】

⚠️ ご注意

- 接続する際は、必ず白(+)同士、黒(-)同士で接続してください。
- ドライコーン(別売)は、一度使用すると再使用はできません。
- ドライコーンの使用方法是ドライコーンの取扱説明書を参照してください。

【図⑩】



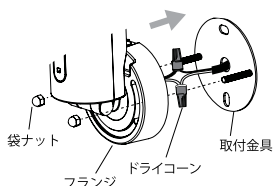
6 本体を取り付けます

本体を袋ナット 2 個で取付金具に取り付けます。【図⑪】

⚠️ ご注意

- ドライコーンをフランジの内部に収めてください。
- 過度の締め付けは商品不具合の原因になります。

【図⑪】



7 カメラの向きを調整します

8 アプリケーションにて映像が映ることをご確認ください

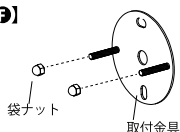
【壁付け時または直置時(電線保護管を使用しない場合)】

1 袋ナットを取り外します

取付金具の袋ナットを取り外します。

【図⑦】

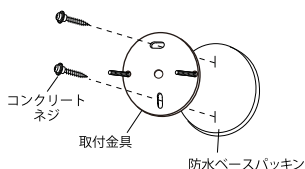
【図⑦】



2 取付金具を壁面に取り付けます

取付金具をコンクリートネジで、補強材のあるところに取り付けてください。【図⑧】

【図⑧】

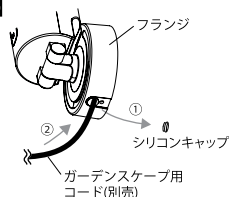


3 コードを配線します

1, コードを配線したい側のシリコンキャップをフランジから取り外します。【図⑨】

2, 穴からガーデンスケープ用コード(別売)を通します。【図⑨】

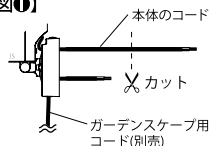
【図⑨】



4 コードを接続します

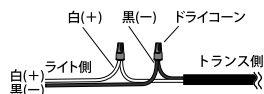
本体のコードとガーデンスケープ用コード(別売)をドライコーン(別売)を使って接続します。【図⑩】

【図⑩】



⚠️ ご注意

- 接続する際は、必ず白(+)同士、黒(-)同士で接続してください。
- ドライコーン(別売)は、一度使用すると再使用はできません。
- ドライコーンの使用法はドライコーンの取扱説明書を参照してください。



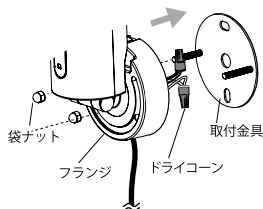
5 本体を取り付けます

本体を袋ナット 2 個で取付金具に取り付けます。【図 0】

⚠️ ご注意

- ドライコーンをフランジの内部に収めてください。
- 過度の締め付けは商品不具合の原因になります。

【図 0】



6 カメラの向きを調整します

7 アプリケーションにて映像が映ることをご確認ください

【天井付け時】

1 取り付け前の準備

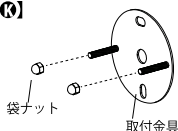
取付面に凹凸がある場合は、防水性能を保つため防水ベースパッキンと取付面のすき間を防水シール剤などで埋めてください。

2 袋ナットを取り外します

取付金具の袋ナットを取り外します。

【図 1】

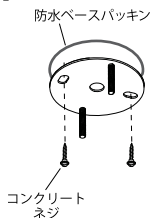
【図 2】



3 取付金具を取り付けます

取付金具をコンクリートネジ 2 本で、補強材のあるところに取り付けてください。【図 3】

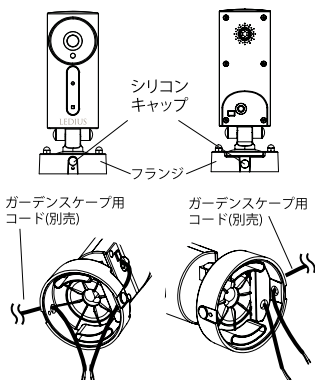
【図 3】



4 コードを配線します

トランス側よりガーデンスケープコード(別売)を配線したい側のシリコンキャップをフランジから外し、穴からコードを通します。【図M】

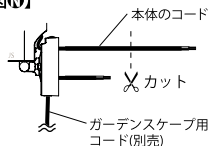
【図M】



5 コードを接続します

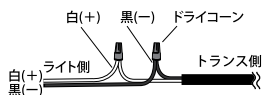
本体のコードとガーデンスケープ用コード(別売)をドライコン(別売)を使って接続します。【図N】

【図N】



⚠️ ご注意

- 接続する際は、必ず白(+)同士、黒(-)同士で接続してください。
- ドライコン(別売)は、一度使用すると再使用はできません。
- ドライコンの使用方法はドライコンの取扱説明書を参照してください。



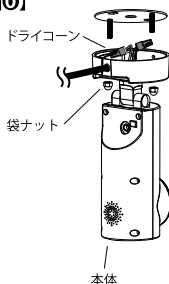
6 本体を取り付けます

本体を袋ナット 2 個で取付金具に取り付けます。【図O】

⚠️ ご注意

- ドライコンをフランジの内部に収めてください。
- 過度の締め付けは商品不具合の原因になります。

【図O】



7 カメラの向きを調整します

8 アプリケーションにて映像が映ることをご確認ください

施主様へ お伝え下さい

- 【パッケージ】を保管いただくようお願い下さい。
パッケージにはシリアルナンバー・メンテナンス Q&A の記載があり、保証書にもなっていますので、大切に保管いただくことが必要です。
- 【同梱のステッカー】をご利用いただくようお願い下さい。
同梱のステッカーは防犯効果を高めるためのものです。公道などからよく見える場所に掲示してご利用いただくようにお願いします。

ご使用上のお願い

■ こんなところには設置しない

- テレビ、ラジオ、パソコンなどの OA 機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置、電子レンジ、無線送信機（ラジオ送信機）、電話送信機、2.4GHz で動作する無線デバイス（Bluetooth、無線電話機など）の近く（ノイズ発生の原因）
- 本機に、過度の煙、ほこり、高温や振動を与える場所

■ このような使用はしない

- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を長時間映さない（撮像素子が破損する原因）
- 本機の上に重たいものを置かない
- 火気・熱器具の近く（温度が -30℃ 以下、または 50℃ 以上の場所に置かない。湿気の多い地下室などを避ける。）
- レンズカバーや人感（熱）センサーにキズや汚れをつけない（きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなかったり、変形や故障の原因）
- 電気機器の近くで本機を操作すると干渉を起す恐れがあります。電気機器から離してください。

■ プライバシー・肖像権について

- カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
- 「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容姿を撮影されたり、公開されたりしない権利」と一般的にいわれています。

■ 傍受について

- 本機は通信に暗号化技術を用い第三者に傍受されにくい商品ですが、電波を使用するため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

■ 画質について

- 本機の画質について、以下のような場合があります。
 - ・色合いが、実際の色と異なる
 - ・逆光のとき、人の顔が暗く見える
 - ・夜など光源が乏しい場合に、画質が低下する
 - ・外灯を写すと、周りがかすんだようになる

その他

- デザインや仕様は予告なく変更することがあります。
- 本書に記載のイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書ではスマートフォン・タブレットを総称して「スマートフォン」と表記しています。

商標について

- iPhone、iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Android は、Google Inc. の商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。